



## ☺三河のつぶやき☺

隔週火曜日10時から地域連携室会議を開いています。下記の鎌田さんやベッドコントロール担当帥長さんも参加してくださっています。唐鎌さんという敏腕事務さんがいるにもかかわらず、会議はいつも大盛り上がりとなり時間をオーバーしてしまいます。忙しくも、楽しい時間です。検討すべき課題=改善できることがたくさんあるからです。(皆さんの熱意もすごいです)もしご興味がある方がいらっしゃれば、一緒に！次回からただつぶやくだけではなく、現在検討していることをひとつずつ書いてみようと思います。



地域医療連携室  
室長 三河 貴裕

マイブームは「貝殻磨き」です。

貝殻を磨くと真珠のような輝きを放つことを知った。教えてくれたのは、貝磨きのFさん。浜辺で見つけた扇形の貝や巻き貝などを三種類の水ヤスリで、20～30分磨く。「力を抜いてゆったり。砂浜の波打ち際を漂うように」とはFさんの言葉。最初は、目の粗いヤスリから順に細かい目のヤスリを使って磨いていくと、貝の表面がツルツルに。最後は布で仕上げ磨きをすると、キラキラ貝の宝石ができていく。貝は、それぞれ一つ一つ異なる色や模様を持っている。磨いた貝は世界でただひとつの宝石になる。紐をつけて貝の首かざりやストラップにして楽しんでいる。私は今、近くの浜辺で貝探し。家では黙々と貝磨き中。  
ペンネーム(友)

## TOPICS

### 安房地域がん看護勉強会のご案内

## TOPICS

昨年度に引き続き、安房地域医療センターを会場に「がん看護勉強会」を開催いたします。単発でのご参加も可能です。知識習得のみでなく、勉強会を通して顔の見える関係作りができればよいと考えております。ご興味のある方は是非ご参加下さい。\*詳細・お申込は同封の資料をご覧ください

- 第1回:6月15日(金) **疼痛マネジメント**:痛みを緩和する為に用いる薬物療法・ケアについて理解する
- 第2回:7月27日(金) **スピリチュアルケア**:ケアする私たち自身をみつめる
- 第3回:8月24日(金) **症状マネジメント**:呼吸困難、嘔気、嘔吐に焦点を当て、薬物療法・ケアを理解する
- 第4回:9月21日(金) **家族ケア**:看取りを含めた意思決定を支える上で医療者の視点と関わり方について学ぶ
- 第5回:10月19日(金) **浮腫ケア**:リラクゼーションを体験する
- 第6回:11月30日(金) **化学療法看護**:薬剤の影響を知り早期対応につなげる
- 第7回:12月21日(金) **在宅ケア**:在宅での緩和ケアの実際を学ぶ

\*今後、「皮膚疾患について」や「感染管理について」ご案内致しますのでご参加下さい。

## 「地域医療支援部・総合相談室のご紹介」

地域医療支援部・総合相談室(ソーシャルワーカー)副室長 鎌田喜子

今回は私達、地域医療支援部総合相談室のご紹介をさせていただきます。総合相談室はソーシャルワーカー18名とケアマネジャー6名と退院支援看護師2名がいます。席は地域医療連携室の4人とも肩を並べています。K棟1階のオフィスはとても広く、在宅医療の往診医や訪問看護師、訪問リハビリ、訪問栄養士、訪問薬剤師、亀田産業のヘルパーさんと多職種が一同に集まり、朝9時半くらいまでは70人位います。でもあつという間に皆さん出かけ、私達ソーシャルワーカーも病棟や、面接室へと散ります。総合相談室では「退院したその日から患者様が困ることがないように」を目指し、入院中はソーシャルワーカーと退院支援看護師が退院準備のお手伝いをし、退院後はケアマネジャーにバトンタッチして介護を含めた生活を支援しています。この3月からは主に安房地区の病院の方々に毎週お電話させていただき、病床状況を伺っております。お忙しい時間を割いていただき感謝しています。2年前から三河先生がいろいろな先生方の元を訪問されていますが、そこにもメンバーを順番に同行させていただいております。この地域にも志高く開業されているいろいろな職種の方々がたくさん活躍されています。そういう方々の得意分野や心意気を知り、患者さまが安心生活を送れるように繋げていきたいと思っています。できるだけタイミング良く、患者さまが望む生活に少しでも近づくように、支援していきたいと心から思っています。とは言え、皆様方にはいろいろとご無理を言うと思いますが、あきれずに末永くお付き合いいただけますよう、これからもよろしく願いいたします。

## 安房地域医療センターにおける医療連携

当院における地域医療連携は、大きく分けて2つの局面を持っています。1つは館山地域における地域医療連携、1つは亀田メディカルセンターとの医療連携です。

館山地域における医療連携は、以前は医師会病院だった関係で、比較的密な連携がとられていました。しかし、最近では疎遠になりがちな先生方もおり、三河先生の言う顔の見える関係を作りたいところです。当院の地域連携室に籍を置く安西君が、昨年、三河先生たちと一緒に、病院、診療所の先生方を訪ねさせていただきました。そこから、少しでも顔の見える地域連携が築ければと思いましたが、まだ先に進んでおりません。病院、診療所、そして施設とも親密な関係の構築を急ぎたいと思っています。

この5月7日、当院では救急棟が全オープンしました。1階は北米型の救急センター、2階は透析センター、3階はリハビリテーションセンターが占めています。オープンに先立つ見学会には医療関係者の方々も多数来ていただきました。職員不足からまだ生かし切れない施設もありますが、ソフトも充実させ、地域連携にも是非役に立てていきたいと考えています。

亀田メディカルセンターとの医療連携では、当院の医師の大多数が亀田からの出向であり、人の交流もあり、医療連携も比較的にできていると考えます。三次救急、高度医療、当院の専門外医療のお願い、急な画像読影のご依頼等、また、コメディカル教育のお願いなども含め亀田メディカルセンターにおんぶにだっこ状態ですが、当院も少しでも役にたてるよう努力しているところです。これからよろしく願いいたします。



社会福祉法人太陽会  
安房地域医療センター  
院長 水谷正彦先生